

ダンス「次は全国V！」

各地の大会で13回優勝

熊谷の友光さんら 小中生チーム



熊谷 熊谷市立富士見中学校2年の友光 叶空(とあ)さん(13)ら3人でつくるダンスチーム「furo」(フュロー)存在、生命力の意味)は昨年度、全国各地で開かれる地方予選や大会に37試合出場し13回優勝した。川崎市で先月開催された日本最大級のキッズダンスコンテスト「オールジャパンスーパーキッズダンスコンテスト2023FINAL」(BIGUP主催)では全国3563組、9761人の中から、小中学生チームの45組に選ばれた。全国優勝を目指し、練習に励んでいる。

(タウン記者・栗原和江)

キッズダンス人口は国内で約200万人とされ、中学校 幼稚園年長から熊谷市中央の体育の必修科目にもなっている。メンバーは友光さんのは7年間通い、ヒップホップダンスを習った。現在は川越市のスクールに週3回、同県館林市のスタジオに週1回通う。

自主練、チーム練習を含めると毎日2時間以上のレッスンをこなす。帰宅は夜遅くなることもしばしばだ。それでも所属する学校の体操部の朝練習は休んだことがないという。「午後の部活動には出られないからせめて朝練だけは行きたい」と、真面目な一面をのぞかせる。

型などがなく、自由な表現が求められるヒップホップダンス。レッスンでは「質感で踊ること。質がないと踊りに説得力がない」と、強く言われるという。指導に当たるプロダンサーのRINKAAAさん(19)「本名・西塚凜可」は、「最初は小さいコンテストで優勝することを目標にしていたが、3人の努力でここまでこられた。3人の活躍を一番に応援しているし、支えていきたい」と話す。

友光さんは、「次は全国優勝を目指したい。音の表現そのものがダンスだから、なにより音を楽しめるプロダンサーになりたい」と夢を膨らませている。



ダンスを披露する小中学生チーム「furo」のメンバー(提供)